

事例報告：北名古屋市歴史民俗資料館 昭和日常博物館の試み—回想法事業 The Showa Era Lifestyle Museum

北名古屋市歴史民俗資料館 昭和日常博物館 回想法事業

市橋芳則 ICHIHASHI Yoshinori



第1回 日本博物館協会賞 受賞理由

受賞理由として、「地域の公立博物館として、所蔵する昭和期の生活資料を活用し、地域の高齢者を対象とした回想法を用いた事業に早くから取り組み、日本でのモデルケースとして他の同種の施設へ広がりをもたす先駆的な役割を果たすとともに、地域住民と博物館の連携とともに、地域の医療や福祉等、多様な行政との連携体制の下で、地域文化を人から人へと受け継ぐ装置としての博物館の役割を果たすとともに、地域における異世代間交流の場としても機能し、事業の継続について長期的な展望と計画が整備されている。」と評価されました。

北名古屋市歴史民俗資料館

歴史民俗資料館▶昭和日常博物館へ転換

平成2年(1990)に開館、平成5年(1993)より、昭和時代の生活用品の収集・展示・活用に特化する。



Opened in 1990



2021



Kitanagoya City Museum of History and Folklore The Showa Era Lifestyle Museum

導入展示(ロビー)



Kitanagoya City Museum of History and Folklore

The Showa Era Lifestyle Museum

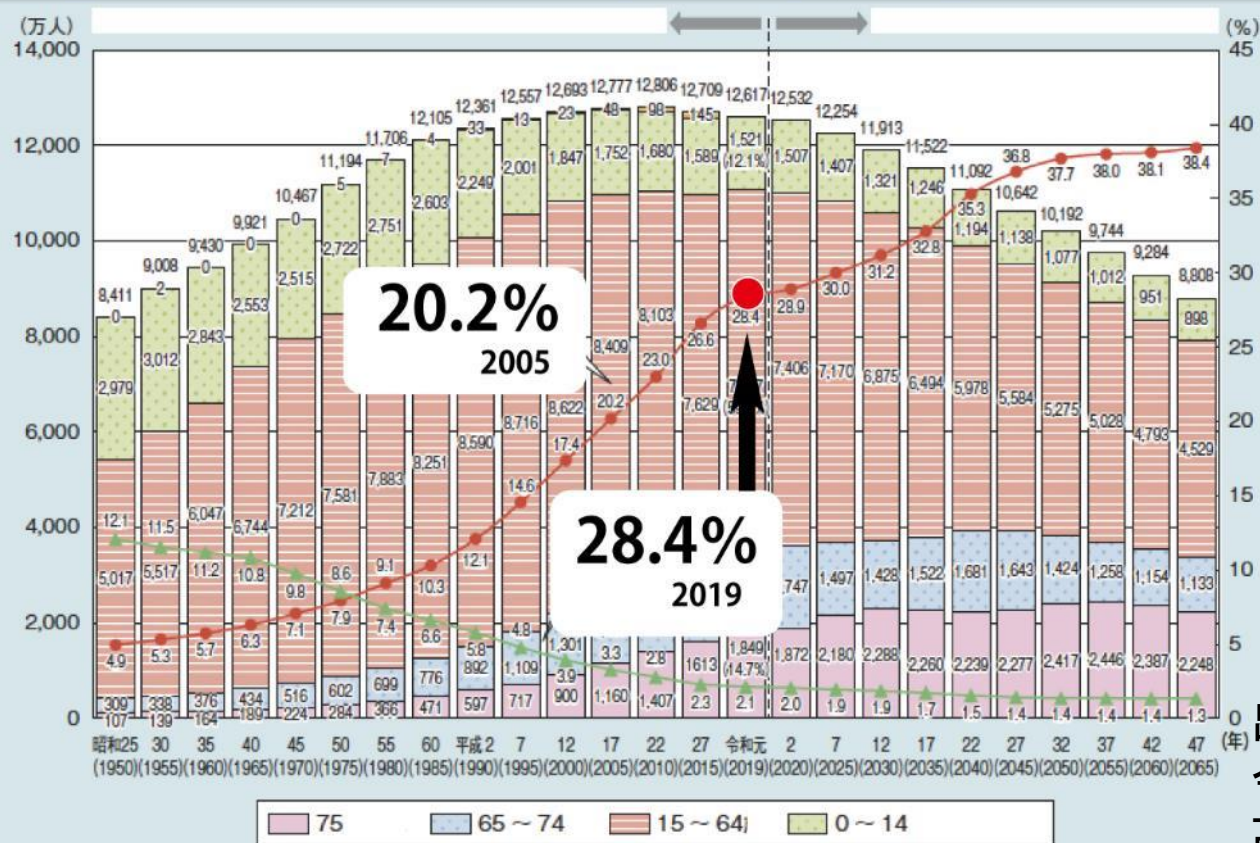
かつての日本の日常がここに。
テレビ・冷蔵庫・洗濯機。三種の神器が加わり
新たなライフスタイルが始まったとき。
温故知新！
そこには何か発見がある。



モータリゼーション／マイカーブームの到来

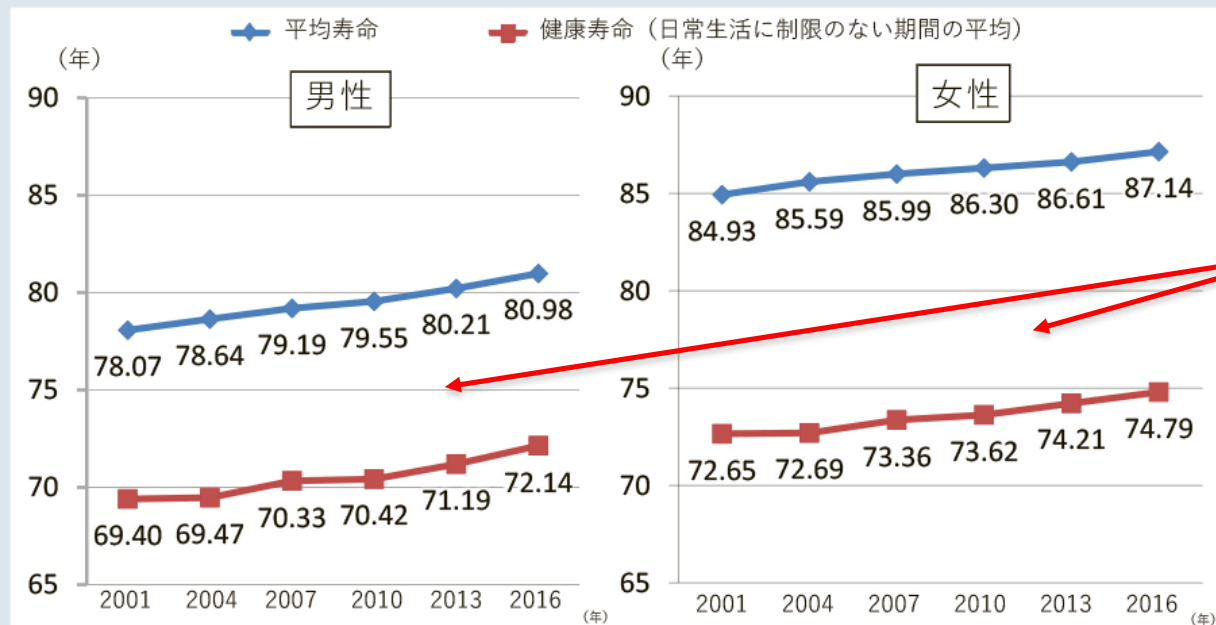


社会的背景



社会的背景

図表 1-2-6 平均寿命と健康寿命の推移



背景：高齢者と博物館の新たな関わり

北名古屋市
2002

■日本博物館協会(文部科学省委託事業)

2003年

「博物館における高齢者を対象とした学習プログラムの開発」

2004年

「誰にもやさしい博物館づくり事業」

高齢者対応、外国人対応、障害者のためのバリアフリーの3委員会

・回想法
・ボランティア

＜文献・報告書＞博物館の望ましい姿シリーズ

「誰にもやさしい博物館づくり事業 高齢者対応プログラム」

「誰にもやさしい博物館づくり事業 高齢者対応」

背景：高齢社会対策基本法と博物館

高齢社会対策基本法 平成7年 1995年

（学習及び社会参加）

第11条

国は、国民が生きがいを持って豊かな生活を営むことができるようにするため、生涯学習の機会を確保するよう必要な施策を講ずるものとする。

2 国は、活力ある地域社会の形成を図るため、高齢者の社会的活動への参加を促進し、及びボランティア活動の基盤を整備するよう必要な施策を講ずるものとする。

背景：文化芸術推進基本計画（第1期）と博物館

文化芸術推進基本計画（第1期）平成30年3月6日 2018年

ー文化芸術の「多様な価値」を活かして、未来をつくるー

美術館、博物館、図書館等は、文化芸術の保存・継承、想像、交流、発信の拠点のみならず、地域の生涯学習活動、国際交流活動、ボランティア活動や観光等の拠点など幅広い役割を有している。また、教育機関・福祉機関・医療機関等の関係団体と連携して様々な社会的課題を解決する場としてその役割を果たすことが求められている。

地域回想法と博物館資源の活用 博福連携の試み

昭和日常博物館の試み —地域回想法による地域博物館の新たな役割



地域回想法とは？

昔懐かしい生活用具などを用いてかつて経験した
ことを楽しみながら皆で語り合う。

- 健康増進・認知症予防
- 交流・世代を超えた交流
- 地域づくり・まちづくり

Reminiscence

北名古屋市の地域回想法

昭和日常博物館

since 1990

旧加藤家住宅

since 1998



回想法センター

since 2002

地域回想法の3拠点

懐かしい情景



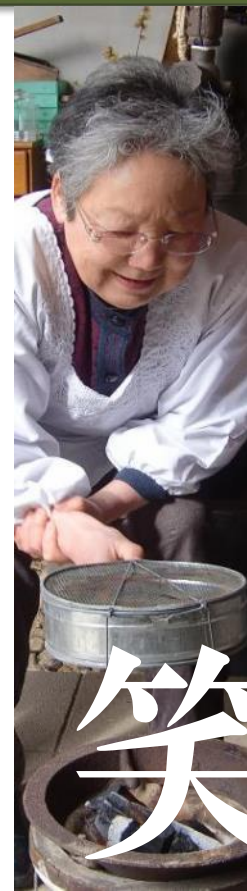
昭和時代の展示＝
今生きている人々の
キオクの展示

そこに高齢者の笑顔が

回想法スクール／グループ回想法



思い出を共有



笑顔

活動例：グループ回想法／回想法スクール

	スクール題名	内 容	使用道具等
1	自己紹介・ふるさと自慢	参加者の自己紹介及びふるさとの話	
2	小学校の思い出	当時の教科書等の思い出	昔の教科書
3	遊びの思い出	お手玉及び竹とんぼ等の遊びの思い出	お手玉、竹とんぼ
4	ご飯炊きの思い出	食事(ご飯炊き)の思い出	復元のくど、釜
5	食事支度の思い出	とろろご飯等食事の思い出	すり鉢
6	お手伝いの思い出	子守りなどお手伝い思い出	乳母車
7	お洗濯の思い出	洗濯板での洗濯の思い出	洗濯板、たらい
8	茶話会・感想	こうせんを食べながら感想	こうせん

回想法キット

実物の貸出





□001-005 スターターキット

□006 かま炊きご飯の思い出 □007 洗濯と裁縫の思い出

□008 着物の思い出 □009 小学校の思い出

□010 子どもの頃の遊び □011 夏の思い出

□012 寒い冬の支度 □013 身近な暮らしの品々

□014 職人・商売の道具 □015 藁の手ざわり

テーマ別キットは、小学校、洗濯、裁縫、夏、冬などテーマに準拠した資料を収めています。

基本的には、まずスターターキットを利用いただき、その後テーマ別のキットを目的に応じて利用いただくことを見込んでいます。

回想法を用いた昭和日常博物館Work shop

ショウワ回想ワークショップー昭和時代の回想から素朴な日常を体験

アート回想ワークショップーアートと回想法の融合

Work shop 洗濯板で洗濯と洗い張り体験

回想法を用いた昭和日常博物館Work shop

世代間交流・伝承教育 —記憶が世代をつなぐ

社会還元の間・社会的役割を担う(経験・知識・知恵・技術etc)

Work shop 石臼で粉挽き体験

回想をテーマとした連携プロジェクト

旧加藤邸アートプロジェクト

博学連携プロジェクト 名古屋芸術大学



記憶の庭で遊ぶ

回想をテーマとした連携プロジェクト 日光写真が世代をつなぐ



1995年から行っている日光写真
世代を超えて伝わる

回想をテーマとした連携プロジェクト モノ語りの博物館講座



内 容	
1	自己紹介・資料館見学
2	懐かしい話「遊びの思い出」
3	懐かしい話「夏休みの思い出」
4	展示のテーマを選ぶ「魚捕り」
5	テーマについて詳しく話し合う
6	展示する資料を選ぶ。
7	わかりやすい説明を考える。
8	展示を完成させる。

「新しい生活様式」メッセージ発信事業 2020～

事業構成

(1) 主幹事業

- ◇外観ラッピング事業及び自立式サイン設置 <12/11～>
- ◇特別展「くらしの移り変わりを知る“collection”30 <11/1～>
～これまでの30年、つなぐNEXT30年～
- ◇企画展「くつろぎの時間展
～記憶のなかのやすらぎの時間・思い出の至福の一杯～<3/3～>

(2) 併設事業

- ◇図書館テーマ本 <11/1～>
「知っておきたい感染症～新しい生活様式でスマートに暮らす」
- ◇図書館・昭和日常博物館のガイドラインと感染拡大防止策 <11/1～>
- ◇「新型コロナウイルスと対面した記憶のゆくえ」
保存してみる！一単語・モノ・コトは、のちにこの時代を表象するか？

「新しい生活様式」メッセージ発信事業

◇マスク今昔モノ語り <12/11～>

◇アマビエ×伝統工芸 <12/11～>

◇NEW三種の神器 <12/11～>

◇生活様式が新しくなることの意味

詳説:昭和時代の生活様式の変化に学ぶ <12/11～>

<参考図書>

吉野正治「あたらしいゆたかさー現代生活様式の転換」連合出版,1984

吉野正治「生活様式の理論」光生館,1980

西山外三「住居学ノート」勁草書房, 1977

井原哲夫「生活様式の経済学」日本経済新聞社,1981

橋本和孝「生活様式の社会理論」東信堂,1987





第二回・日本博物館協会賞受賞
昭和日常博物館

NEXT 30
コナクNEXT30年

昭和30年代

現代は？
昭和40年代
3C
生活様式の変化
新しい生活様式

北近江市歴史資料館 北近江市歴史資料館

市役所児童館の案内図

新しい生活様式

新しい生活様式

来客駐車場